



分散均染剤
レベラン® 174S(開発品)

■はじめに

レバラン174Sは、同浴処理加工時に添加することで、**逆汚染**を抑制することが出来る分散均染剤です。



逆汚染とは、加工後の処理液の中にある汚れ(難燃剤や染料)が、ポリエステル繊維に再付着してしまうことで、汚れが付着した生地は不良反となります。不良反が発生すると、再加工が必要となり、生産性の低下に繋がります。

■特長

- 汚染防止(抑制)性能が優れています。**

液流染色機での加工トラブルとして、**缶体汚染**や**スパック汚れ**があります。

弊社取扱のノンネンEHシリーズと併用する事で、缶体汚染や生地汚染を軽減する事が可能です。

液流染色機での同浴処理加工を想定した汚染試験では、レバラン174Sを使用する事で、染色機内(pot)の缶体汚染を低減出来ている事が分かります(図1)。

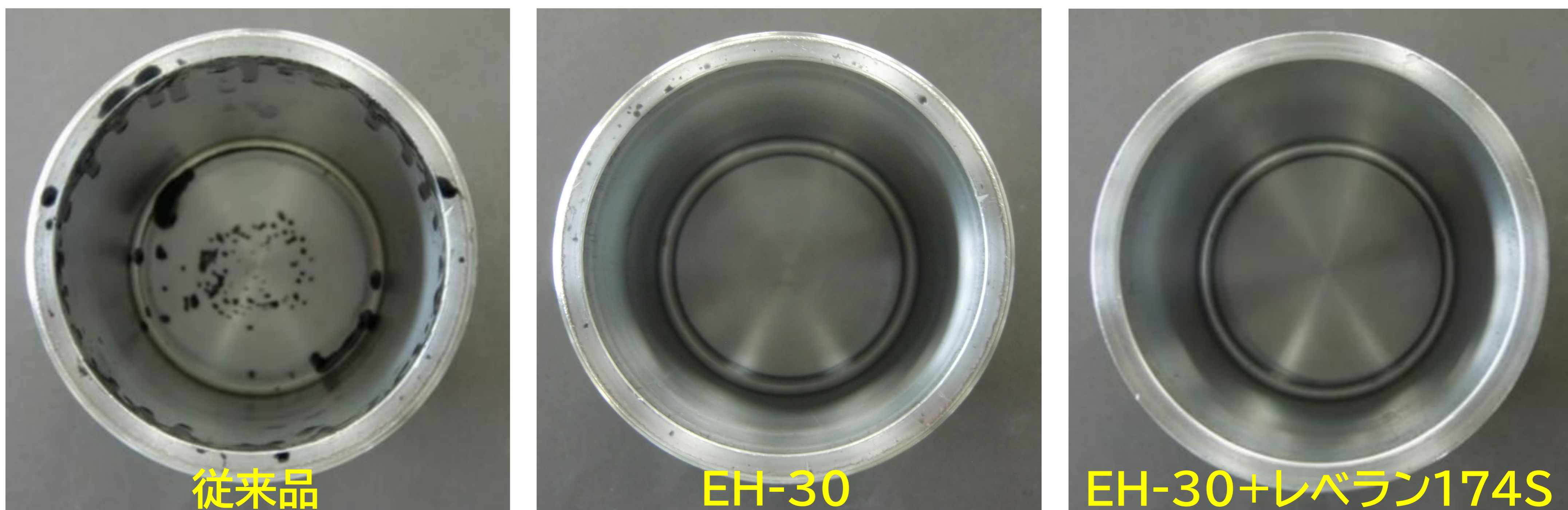


図1. 染色工程後の釜(pot)の様子

染料や難燃剤が高温・高圧下で分散できないと、加工布に**スパック**と言われる染料の凝集物が付着する場合がございます。

レバラン174Sは、一般に分散性が悪いとされる赤色染料でも、均一に分散させて、スパック汚れの発生を低減させる事が可能です(図2)。

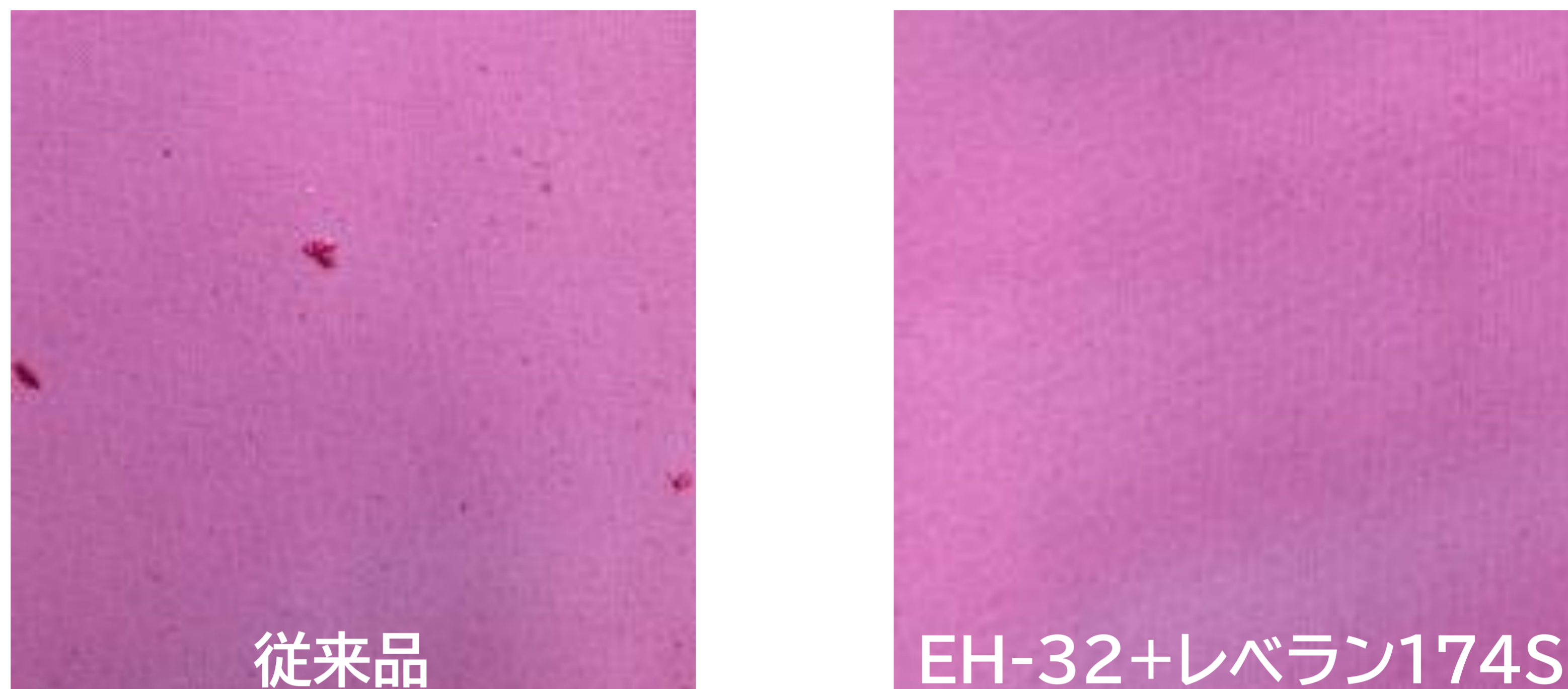


図2. 分散染料(赤)で染色した加工布の様子

●高温・高圧下でも、非常に高い分散性能を発揮します。

上記の**缶体汚染**や**スパック汚れ**の原因は、加工液中の染料や難燃剤の分散不良だと考えられております。

レバラン174Sで同浴処理加工した時の加工液を吸引ろ過する事で、ろ紙上に残った異物(染料, 難燃剤)の有無から、分散性能を確認出来ます(図3)。

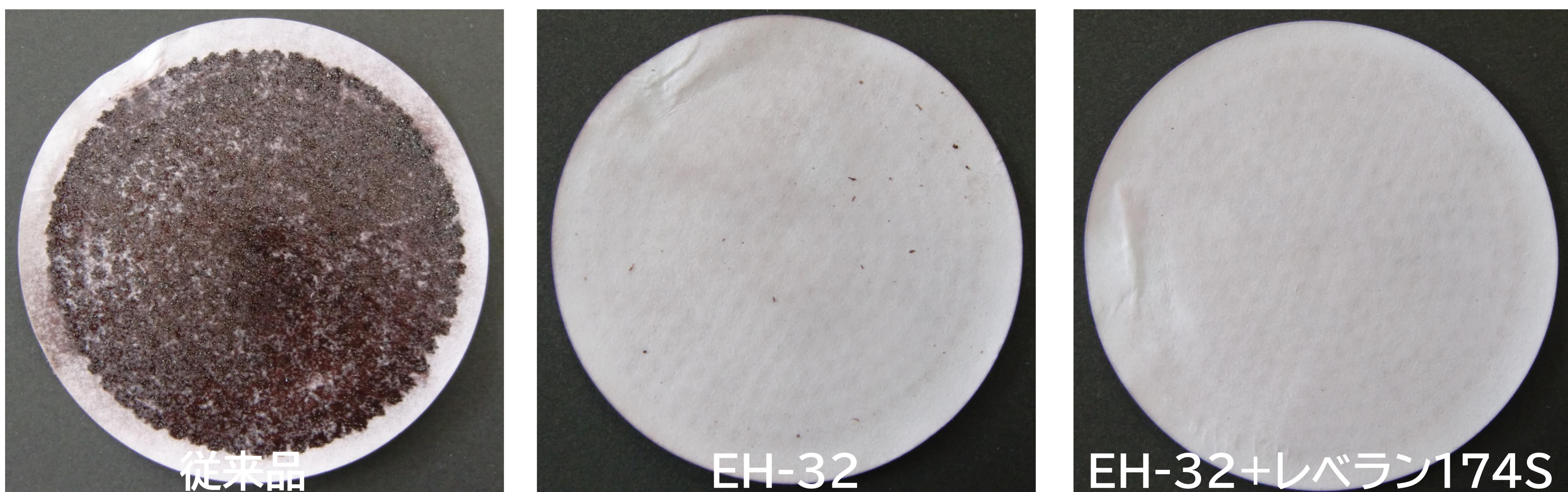


図3. 同浴処理後の加工液の分散性(ろ過試験)

■レベラン174Sの一般性状

一般性状	
製品名	レベラン174S
外観	淡黄色－黄褐色透明液体
pH	6.0－9.0(1%水溶液)
固形分	40.0-50.0%
比重	1.05(20℃)
溶解性	水と任意の割合で溶解
入目・荷姿	17kg, 石油缶

■吸尽加工例

生布 : ポリエステルカーテン生地(CDP15%, 目付295g/m²)

処方 : ノンネンEH-32 5.0-15.0%owf

浴比 : 1/15

分散均染剤: **レベラン174S** 0.6g/L

pH調整剤 : 0.5cc/L

染料 : 分散染料・カチオン染料 各色 0.2%owf

加工条件 : 130℃×30分

ソーピング : RC(ソーピング剤, ソーダ灰, 還元剤・・・各2g/L)80℃×10分

→ 湯洗い80℃×10分 → すすぎ

乾燥 : 80℃×10分(予備乾燥) → 180℃×1分(キュア)

▲染浴に直接添加するか、または適当な濃度に希釈後、添加して下さい。